

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和59年12月10日

第34報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	560		
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	120		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	100		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	120		
(珪) <i>Melosira distans</i>	440		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	100		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	80		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	200		
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	620	○	◎
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	40		
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	320		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	80		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	◎	○
(緑) <i>Staurastrum</i> sp.	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	780	22.3	14.2
(珪) 珪藻綱	1000	28.6	17.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	620	17.7	35.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1100	31.4	32.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3500	総体積	2.95E+06
種 類 数	16	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
褐色鞭毛藻綱	<i>Cryptomonas</i> sp.	620

植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



***Cryptomonas* sp.**
(クリプトモナス)
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんで消化道を形成している。等長の2本の鞭毛を持つ。通常2個の大きな葉緑体を持ち、その色は黄色、褐色、赤色、赤褐色などさまざまである。